



東京芸術祭ファーム2023

アートトランスレーターアシスタント(通訳・翻訳) 参加者募集

[応募締切 2023年6月20日(火)16:00 (日本標準時)]

日本語⇄英語の通訳・翻訳業務を通じて創作現場のコミュニケーションをサポートしながら、実践に根ざしたノウハウを学ぶプログラムです。未来のアートトランスレーターを募集します。

コミュニケーションの観点から創作の場づくりをする「アートトランスレーター」は、言語の変換にとどまらず、多文化・多言語間の創作のつなぎ手として国際協働企画において重要な役割を担います。

東京芸術祭ファームでは、未来のアートトランスレーターが経験を積む場として、通訳・翻訳・コミュニケーション業務をサポートする「アートトランスレーターアシスタント」(有償)を募集します。

実際の国際協働の現場でアーティスト等と連携しながら、コミュニケーションデザインチームのもとで実践的な経験を積み、ノウハウを培う機会です。

(実施言語：英語・日本語)

コミュニケーションデザインチームについて

東京芸術祭ファーム2023のコミュニケーションデザインを担当するのは、アート専門の通訳・翻訳者による活動団体「Art Translators Collective」のメンバーが中心となって編成されたチームです。舞台芸術や現代アートを中心にさまざまな創作の場で、多様な表現者とそこに関わる人々のつなぎ手を務めてきたアートトランスレーターたちが、その知見を活かし、それぞれのプログラムに必要とされるコミュニケーションのあり方を提案していきます。参加アーティスト、ファシリテーターなどと連携しながら、それぞれの出自・立場・参加形態に関わらず参加者・関係者全員が公平に安心して創造に参加できるコミュニケーション環境の構築を目指します。

▶こんな方にオススメ

- トランスレーターとして舞台芸術の現場を経験したい方
- 今後アートトランスレーターとして活動をしていくことに興味がある方
- 多文化・多言語の集まる創作の現場に必要なコミュニケーションのあり方について、実践を通じて考えたい方
- アジアにおける舞台芸術に関心がある方

| 東京芸術祭 Webサイト <https://tokyo-festival.jp>

主催：東京芸術祭実行委員会〔公益財団法人東京都歴史文化財団（東京芸術劇場・アーツカウンシル東京）、東京都〕
協賛：アサヒグループジャパン株式会社

東京芸術劇場
Tokyo Metropolitan Theatre

ARTS COUNCIL TOKYO



東京都

アサヒグループジャパン株式会社

コミュニケーションデザインチーム より

トランスレーターはよく、創作の場から切り離された「黒子」や、言語を変換する「機械」のような存在だと思われがちです。しかし、さまざまな文脈や表現を扱う芸術の領域においては、国際協働の現場ごとに固有のコミュニケーションの形が存在します。そして、その中でのトランスレーターの言葉の選び方や周囲との関わり方は、現場のあり方や作品にまで影響を与えます。アートトランスレーターの仕事とは、人と人の間に立つメディエーター（媒介者）として、創造の場に能動的に関わり、その場に必要コミュニケーション環境を構築していくことです。それは決してロボットのように画一的な作業ではなく、アーティストと同じ視座に立ち、緊密に連携しながら作品制作の現場を作り上げる、非常にクリエイティブな営みです。

アートトランスレーターを目指す方には、「こうすれば絶対OK」という方法を教えることはできません。何が正解かは現場によって異なり、何がベストかは誰にもわからないからです。しかしだからこそ、トランスレーションやコミュニケーションの可能性を一緒に模索したいという好奇心とチャレンジ精神旺盛な方に、ぜひ応募して頂きたいと思います。今回4年目の取り組みとなりますが、過去のアートトランスレーターアシスタントたちは、東京芸術祭をはじめとする多くの現場で、それぞれに固有の視座を見出しながら活躍しています。

また、過去にこのプログラムに応募していただき、残念ながらその時は一緒できなかった方もぜひ、再度挑戦してみたいです。創作の現場も、トランスレーターのあり方も変わり続けています。それぞれの経験を経て、今年のあなたはどんな活動をしたいと考えていますか？ ぜひ聞かせてください。

今回の経験が、さらなる未来のアートトランスレーターを生むきっかけになることを期待しています。

2023年度コミュニケーションデザインチーム：Art Translators Collective
(チーフ：田村かのこ メンバー：水野響、山田カイル、春川ゆうき、森本優芽)

実施概要

■ 活動内容

- 期間中は、コミュニケーションデザインチームのもとで活動、業務を実施します。
- 以下のプログラムを担当し通訳・翻訳演習またはそれに準ずる業務を実施します（90時間以内で調整）。
※Asian Performing Arts Campについての詳細は【別紙】を確認してください。

担当プログラム	活動内容
Asian Performing Arts Camp	アートトランスレーターと連携しながら、参加者間のディスカッション・リサーチにおけるコミュニケーションをサポートする。 <ul style="list-style-type: none">● 参加者の東京での活動サポート● 参加者全員が気持ちよく創作の場に参加できるよう、風通しのよいコミュニケーション作りをサポート● 芸術祭関係者など、日本語話者がプログラムに参加する際の通訳サポート（日英での議事録作成等）● プレゼンテーション等で必要となる翻訳業務のサポート（字幕作成、スクリプトの下訳等）

- その他、以下のような研修や交流の機会があります。
 - 通訳ワークショップ
 - 通訳・翻訳の基礎知識、アートの現場におけるトランスレーションの考え方、オンライン・対面・稽古場・劇場など異なる場面での通訳の違い、などをレクチャーおよび実践を通じて共有します。
 - コミュニケーションデザインチームとの定期的なミーティング
 - 担当のアートトランスレーターがメンターの役割を担い、通訳翻訳の技術面でのアドバイスや、業務全般において随時サポートします。
 - 東京芸術祭ファーム 全プログラム共通で実施する活動（全体顔合わせ、研修、交流会 等）
 - 東京芸術祭2023のプログラムの鑑賞機会（一部有償）

■ 実施日程

期間：2023年7月21日(金)～10月11日(水)

● アートトランスレーターアシスタント 活動日程

内容	日程	実施会場
オリエンテーション	7月24日(月) 16:00-18:30	オンライン (Zoom) または東京での現地開催
通訳ワークショップ	7月31日(月) 19:00-21:00	
定期ミーティング	参加者と日程を調整の上、月1回程度実施	
Asian Performing Arts Campでの業務 (有償)	Asian Performing Arts Campの活動日程(【別紙】参照)の内、90時間以内で個別調整	
ラップアップ / 修了式	10月11日(水) 18:00-20:00	オンライン (Zoom) または東京での現地開催

※上記、活動日程以外も、随時、Slack等で情報交換を実施します。

● 東京芸術祭ファーム2023 プログラム共通 活動日程

内容	日程	実施会場
共通レクチャー① <ハラスメント防止研修>	7月21日(金) 15:00～17:00	オンライン (Zoom)
参加者顔合わせ	7月31日(月) 15:00～17:00	
共通レクチャー② <コミュニケーションデザイン>	8月7日(月) 19:00～21:00	
公開レクチャー	8月下旬 (日程調整中)	
主催者顔合わせ	9月11日(月) 15:00～17:00	

※詳細はオリエンテーションにてお知らせします。

■ 活動場所

- オンライン (使用ツール: Zoom 等)
- 東京芸術劇場 アトリエイースト、アトリエウエスト (「池袋駅」西口より徒歩2分)
※定期ミーティング、フィールドワークなど、活動内容によって上記以外の場所で実施する場合があります。

東京芸術祭ファーム ラボは、さまざまな人が創造的な力を安心して発揮できるよう、「東京芸術祭ファームラボ ガイドライン」(https://tokyo-festival.jp/tf_farm) に則って運営されます。全ての参加者はこのガイドラインのもと、活動に参加していただきます。

募集概要

■ 応募資格

次の1～6のすべてにあてはまる方

1. 日英通訳ができる語学力がある方
2. 原則、活動開始の2023年7月21日(金)時点で18歳以上 ※高校生不可
3. 東京芸術祭が行う、自身の参加プログラムの広報およびPRに協力することができる方
4. 原則、実施日程(p.3)に掲載のスケジュール、及びAsian Performing Arts Campの実施日程(別紙参照)に原則として全日参加が可能な方
※活動ができない日程がある場合は、応募時に期間を明記してください。
※東京での現地開催の活動で現場稼働が可能な方。(宿泊費・滞在費等のサポートはございません)
5. オンラインでの活動に必要な環境を整えられる方
 - セキュリティに問題がないインターネット接続環境
 - グループビデオ通話、動画閲覧、大容量ファイルのダウンロード等に十分に対応できるインターネット接続環境
 - Zoomのグループビデオ通話*、Slack、Miro、Google Drive、One Drive が利用できる端末(使用ツールは参加者の状況やプログラム内容に応じて追加、変更となる可能性あり)
*Zoomの使用に必要なシステム要件：<https://support.zoom.us/hc/ja/articles/201362023>
 - スマートフォンのみでの参加は非推奨
6. 東京芸術祭ファームの関係者と信頼関係を築きながら業務を遂行する意思のある方

※以前に「アートトランスレーターアシスタント」プログラムに応募したことのある方も、再応募歓迎です。

■ 謝金

アシスタント謝金：10万円(税込)

*インボイス制度について

令和5年10月1日より「インボイス制度」が開始されることに伴い、適格請求書発行事業者の登録番号をご提示いただきます。登録番号のご提示の無い方は、消費税相当額を満額お支払いできない可能性がありますことご了承ください。

■ サポート

- アートトランスレーターに必要な技術についての研修を実施(現場で活躍するアートトランスレーターによる実践的な研修を受講できます)
- 活動期間中、通訳やコミュニケーションのサポート方法について、コミュニケーションデザインチームが随時サポート
- 移動が発生した場合は、交通費別途支給(1日あたり上限1,000円)
- 東京滞在期間のイベント保険加入(10月3日～10日)

■ 募集人数

2名程度

■ 選考スケジュール

応募受付	応募締切：2023年6月20日(火) 16:00 (日本標準時) ・オンラインのフォームにて受付
一次選考：書類審査	結果発表：2023年6月30日(金)までにメールにて可否を通知 ・応募時の内容をもとに選考を実施
二次選考：面接	選考実施期間：2023年7月3日(月)～7月6日(木) ・オンラインにて実施(使用ツール：Zoomを予定)
採用者決定	結果発表：2023年7月19日(水)頃までにメールにて採否を通知

※採否に関わらず、選考の結果は応募者全員にメールで通知します。必ず、Farm-Lab オフィスからのメール(farm@tokyo-festival.jp)が受け取れるようパソコンや携帯電話の設定をご確認ください。

■ 応募方法

以下、応募フォームより必要事項を入力の上、送信してください。

<必要事項>

1. 氏名
 - 自分に対して使用してほしい代名詞 等 (he/him、she/her、they/them、名前 等 / 自由記述)
2. 活動拠点 (都市名 / 複数ある方は全て)
3. 生年月日
4. メールアドレス
5. 連絡先住所
6. 日中連絡のつく電話番号
7. 職業 (所属など)
8. 略歴 (日本語400字または英語250ワード以内 / 日英どちらでも可)
※海外経験等、言語のバックグラウンドが分かる内容を記入してください。
9. 英語 (もしくは日本語) レベルが分かる資格 等 (あれば)
10. これまでの通訳、翻訳経験 (あれば)
※分野、形式 (アテンド、商談通訳等)、方法 (逐次・ウィスパリング・同時) など、なるべく具体的に書いてください。共有いただける翻訳サンプルのある方は添付してください。
11. 得意とする通訳 (選択式)
日英 通訳 ・ 英日 通訳 ・ 日英、英日 通訳両方 ・ わからない
12. これまで舞台芸術に関わった経験、学んだ知識 等 (あれば)
13. 応募動機 (日本語400字または英語250ワード以内 / 日英どちらでも可)
14. オンラインミーティング等に使用する機材 (選択式)
※オンラインでの活動に必要な環境は「応募資格」(p.4)を確認してください。
15. 参加に際して使用するネットワーク環境
16. 実施日程 (p.3、別紙参照) の内、参加ができない日程や活動ができない期間 (あれば)
17. 二次選考期間 2023年7月3日(月)~7月6日(木)の内、面接に参加できない日時 (あれば)
18. 東京芸術祭ファームの他プログラムで応募を予定している、または応募済みのもの (あれば)
※同時募集している他プログラムへの併願は可能です。
19. 応募にあたっての連絡事項など

■ 留意事項

お預かりした個人情報 は 厳重に 保管し、本企画に関する諸連絡以外に 使用することは ありません。

[お問合わせ] Farm-Lab オフィス MAIL : farm@tokyo-festival.jp TEL : 03-4213-4293 (平日10時~18時)
※記載の情報は2023(令和5)年5月25日現在のもので、内容等は変更になる場合がございます。

東京芸術祭ファームとは

東京芸術祭ファームは、東京芸術祭の人材育成と教育普及の枠組みです。アジアの若いアーティストの交流と成長のためのプラットフォームであったAPAF (Asian Performing Arts Farm) に、フェスティバル/トーキョー (F/T) の研究開発・教育普及事業が合流し2021年にスタートしました。今年の東京芸術祭ファームは、研究開発を通じた人材育成のための「ラボ」と、教育普及のための「スクール」の2つのカテゴリーで様々なプログラムを実施します。「ラボ」では、他者と協働しながら地域や分野を超えた「トランスフィールド」を開拓し、今後ますます流動的になる様々なボーダーを自由に行き来して活躍する人材の育成を目指します。「スクール」では、大学生を中心とした若い観客を対象に、レクチャーの受講やトークイベントへの参加など、舞台観劇を通して、考え、交流する機会を提供します。

【別紙】

活動期間中に担当するプログラムについて

活動期間中は以下のプログラムを担当し、通訳・翻訳演習及びそれに準ずる業務を行っていただきます。実際の活動日程は各参加者と調整し決定します。

東京芸術祭ファーム2023 Asian Performing Arts Camp

参加者それぞれの活動テーマや関心領域を出発点に、レクチャーやディスカッション、協働して行うリサーチを通して共に思考を深めるプログラムです。約1ヶ月半にわたり定期的にオンラインセッションを重ねた後、参加者は東京に集結し活動を共にする「ハイブリッド型キャンプ」として実施します。活動の最後には、参加者全員が期間中に取り組んだリサーチを一般公開のプレゼンテーションにて発表し、ゲストや観客とも意見を交わすことで、アーティスト自身のステップアップを目指します。期間中はファシリテーター2名が参加者に伴走し、国や文化を超えた協働の可能性を共に探求していきます。ファシリテーターは、昨年より継続して山口恵子、ジェームズ・ハーヴェイ・エストラダが務めます。

Asian Performing Arts Campの詳細は、以下より、参加者公募の募集要項もあわせてご参照ください。

https://tokyo-festival.jp/tf_farm

● 活動日程

- プログラム実施日程は下記の表をご参照ください。
- オンラインでの活動実施時間は各日3~4時間程度、東京での滞在活動期間は各日8~9時間程度を想定。
*Online Sharing SessionやIn-Tokyo Sharing Sessionの実施日等、上記に該当しない場合もあります。
- プログラム期間中は、活動日以外も随時Slack等で連絡・情報交換を行います。
- オンラインでの活動実施時間はAsian Performing Arts Camp参加者の時差をふまえて調整し、7月末までに参加者へ連絡します（参考：昨年は14:00~17:00（日本標準時）で実施）

活動内容	場所	プログラム実施日程	予定業務時間 (計90時間)
オンライン活動	オンライン (Zoomを使用予定)	8月8日(火)、8月15日(火)、 9月5日(火)、9月12日(火)	16時間 (4時間×4日)
Online Sharing Session		9月19日(火)	4時間
東京への滞在	東京・池袋 ほか	10月4日(水)~10月9日(月・祝) 時間未定	48時間 *左記日程の うち、48時間 程度で調整
In-Tokyo Sharing Session	東京芸術劇場アトリエイースト またはアトリエウエスト	10月9日(月・祝)	
アートトランスレーターアシスタントは、上記日程外で下記の業務を実施。 <ul style="list-style-type: none">● ファシリテーターやスタッフとのミーティング● プレゼンテーション等で必要となる翻訳業務● Slack上でのコミュニケーションサポート 等			22時間

※上記で指定されたアートトランスレーターアシスタント業務時間外のミーティング等も、Farm-Lab オフィスとの事前調整の上、任意で見学・傍聴が可能です。

■ Asian Performing Arts Camp 実施方法・内容

オンライン活動	Zoom、Miro、One Drive等のオンラインツールを使用し、ディスカッションやワークショップ、レクチャー受講などを行います。各自がプログラムの活動時間外に行うリサーチの進捗共有も行いながら、参加者同士のコラボレーションの可能性についても探求します。
Online Sharing Session	各参加者がリサーチやプロジェクトの途中経過をオンラインでのプレゼンテーションとして発表します。東京芸術祭や東京芸術祭ファーム関係者を観覧者として招待します。

東京への滞在	現地でのディスカッションやワークショップ、レクチャー受講の他、東京芸術祭関係者との交流、劇場や現地アーティストの訪問等のフィールドワークを実施予定です。In-Tokyo Sharing Sessionに向けては、滞在中に各自がリサーチや準備を進めます。
In-Tokyo Sharing Session	参加者それぞれが期間中に取り組んだリサーチの結果を一般公開（要予約・観覧無料）のプレゼンテーションで発表し、ゲストフィードバックを迎えてのフィードバックセッションを行います。

※プログラムの活動や参加者同士のコミュニケーションは全て英語で行います。プレゼンテーションやフィールドワーク、またスタッフとのコミュニケーションで、日英通訳が入ることがあります。

※記載の情報は2023(令和5)年5月25日現在のもので、内容等は変更になる場合がございます。